

令和2年度 木祖小学校グランドデザイン



<羽ばたき>



<友愛の絆>

《本校の教育目標》

子どもが喜んで登校する学校づくりのために



人と交わって得る智	学んで得る智	自らの体験によって得る智
-----------	--------	--------------

【めざす子どもの姿】よく学び、よく遊ぶ

- ①学校、地域で明るい「あいさつ」を自分からできる子(やさし木)
- ②自分の考えをもち、意見や考えをしっかりと発信できる子
(かしこ木・たくまし木)
- ③友だちの意見や考えを取り入れ、自分の考えを高めていくことのできる子(かしこ木)
- ④広い校庭・体育館でのびのびと遊ぶ子、毎日しっかりと体を動かす子(たくまし木)
- ⑤学級のため、人のために役立とうとする子、困っている人を助けられる子(やさし木)

学力向上の基盤づくり

□わかる・楽しい授業

～学力向上プラン～

☆授業改善の継続

- 3観点(課題の板書・充実した思考・振り返りの記録)
- 学習環境や授業のユニバーサルデザイン化 合理的配慮(すべての子が取り組める学習)
- 主体的・対話的で深い学びの充実

☆学習内容の確実な定着

- 「かしこ木の時間」を活用した基礎学力の定着
- 高学年外国語の専科制・ALT活用
- 家庭学習充実のための取り組み
・「家庭学習の手引き」を活用した家庭との連携・小中の連携

☆学力向上の基盤となる取り組み

- 学習規律の確立
- 聞き方、伝え方、関わり方スキルアップ
- 諸学力検査の結果をふまえた指導(全国学調、NRT等)

☆教員の指導力向上に向けた研修

- 重点研究
・「資質・能力」を育てる学びの追究
・学びの中核となる総合的な学習の時間・生活科の充実

□体力の向上

- たくましきタイム
・朝のマラソンの継続
・体を動かす楽しさを味わう全校運動
・地元スキー場での2回のスキー教室

□地域に開かれた学校

～ヒト・コト・モノとかわりながら 木祖村の良さを学ぶ～

【木祖村コミュニティ・スクールの充実】

- 地域に根ざした学習活動
・自律性、創造性、協調性を育てる 生活科、総合的な学習の時間
- ・地域の知恵、技、心を学ぶ体験的活動 サニーヒルとの交流、あい愛メール 学校周辺・地域調べ、伝統産業調べ 地域社会見学、郷土食づくり、花壇づくり、源流夏祭り灯籠作り
- 地域の方の授業・行事サポート
・授業、地域社会見学、遠足サポート、マラソン大会サポート、花づくりサポート
- 「もいちど小中学校」との交流・連携

学校を支える地域の活動

- <充実した社会教育・社会体育>
・すくすく倶楽部 ・源流トラッククラブ
・相野山小との交流 ・スキークラブ
・社会体育(卓球、野球、フットサル、剣道、バスケットボール、ソフトボール、卓球等)
- <PTAとの連携>
・PTA親子作業 ・資源回収
・デイサービス親子交流
・PTA小中合同研修

□居場所、楽しみ、存在感、自己肯定感を育てる学級づくり

- ・インクルーシブ教育の充実
- ・成長を自覚する自己評価
- ・どの子どもも安心できる学級(Q-Uなどの活用)
- ・児童との相談日の設定
- ・ソーシャルスキルトレーニングの積み重ね
- ・場に応じた言葉遣い

□木祖っ子活動 ～異年齢集団での交流活動～ 社会力、意欲、自尊感情を育てる場

- 思いやり、支え合いを学ぶ
- 役割の自覚と責任感を育てる
- 伝え合い、関わり合う力を培う
- ・木祖っ子班での活動・・・木祖っ子祭り、花壇づくり、集団遊び 全校運動、全校音楽、灯籠作り
- ・木祖っ子班以外での活動・・・姉妹学級、他学年との共同活動
- ・とちのみ保育園との交流